

日本安全教育学会第26回岩手大会 プログラム

大会日程

第1日目 9月13日(土)

9:30～ 参加受付(理工学部みらいAIOホール入口付近)

10:00～10:15(メイン会場 理工学部みらいAIOホール)

開会行事

学会理事長挨拶

藤田大輔(大阪教育大学教授・学校推進センターセンター長)

年次学会長挨拶

麦倉 哲(岩手大学名誉教授)

10:15～11:30(第1会場 理工学部みらいAIOホール)

基調講演「未来につなぐ『奇跡ではない釜石小の軌跡』

加藤孔子(元釜石市立釜石小学校長、元岩手大学特命教授)

11:30～12:00((第1会場 理工学部みらいAIOホール)

年次学会長講演「災害検証に基づく災害安全の再検討」

麦倉 哲(岩手大学名誉教授)

12:00～13:00

昼食・休憩(理事会は理工学部1号館第1・2会議室で開催)

13:00～14:00

一般口演①

セッションA-1「安全教育I」(第1会場 理工学部2号館12番講義室)

座長:中井 宏(大阪大学)

A-1-1 SNSの書き込みに対する「リスクの見積もり力」を学ぶ 情報モラル教材の開発と評価

○酒井郷平(常葉大学)・西尾勇氣(一般財団法人LINE みらい財団)・塩田真吾(静岡大学)

A-1-2 小学校高学年を対象とした悪ふざけへの親和性に関する調査研究 —「生活安全領域」における加害行動の潜在的リスクの把握を目指して—

○蒔田 悠(常葉大学大学院学校教育研究科)・鈴木 宏征(常葉大学大学院学校教育研究科)・酒井 郷平(常葉大学教育学部)

A-1-3 「安全科」で育む資質・能力 —安全科カリキュラムの再構築に向けて—

○末廣 彩華(大阪教育大学附属池田小学校)

セッションB-1「学校再開」(第2会場 理工学部2号館22番講義室)

座長:渡邊 正樹(東京学芸大学名誉教授)

B-1-1 自然災害後の学校の早期再開に向けた制度的課題:子ども主体の視点から

○桜井 愛子(神戸大学兼東北大学)・佐藤 健(東北大学)・吉門 直子(土佐市教育研究所)

B-1-2 学校統廃合に着目した社会的課題に関する文献レビュー

○堀口 和泉（東北大学工学部建築・社会環境工学科）・佐藤 健（東北大学）

B-1-3 多様な高度専門職の災害支援チームの創設と次世代の人材育成システム

○佐藤 健（東北大学災害科学国際研究所）・桜井 愛子（東北大学災害科学国際研究所）・吉門 直子（土佐市教育研究所）・木下 史子（文部科学省総合教育政策局）

B-1-4 令和6年能登半島地震における七尾市の公立学校の学校再開

○中野 晋（徳島大学環境防災研究センター）・金井 純子（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）・川瀬 公美子（メンタルサポートオフィスーひといきー）

セッションC-1「防災教育I」（第3会場 理工学部2号館23番講義室）

座長：宮本 香代子（安田女子大学）

C-1-1 防災意識を高め主体的に活動できる生徒の育成

○菅原 広康（宮城県多賀城高等学校）

C-1-2 福島県本宮市における地域防災活動の動向

○有馬 詩織（福島大学・院）

C-1-3 防災及び安全の視点から捉えた日本型 STEAM 教育の構築

○藤岡 達也（滋賀大学名誉教授）

C-1-4 地名と自然災害リスクとの関連性に着目した防災教育教材の試案：2018年西日本豪雨の被災地域を例として

○城田 芽美（岡山理科大学大学院理工学研究科）・鎌滝 孝信（岡山理科大学理学部）

14:10～15:10

一般口演②

セッションA-2「教員研修1」（第1会場 理工学部2号館12番講義室）

座長：小川 和久（東北工業大学）

A-2-1 教員を対象とした飲酒運転に関する研修効果の二次分析

○高瀬 和也（鹿児島大学 大学院教育学研究科）

A-2-2 ローテーションによる校内安全点検の効果検証ー視線データの比較を手がかりにー

○本山 敬祐（岩手大学）・藤村 郁胡（盛岡市立太田東小学校）

A-2-3 学校安全における教師の専門性とは何か

○高野 結衣（大阪大学大学院）

セッションB-2「地域連携」（第2会場 理工学部2号館22番講義室）

座長：中野 晋（徳島大学）

B-2-1 震災経験を契機とした協働型防災教育の構築ー宮城県山元町の事例からー

○岩佐 優稀子（東北大学大学院情報科学研究科）・熊谷 誠（山形大学地域教育文化学部）・本多 広樹（山形大学社会共創デジタル学環）

B-2-2 学校教育と社会教育の連携を通じた子供主体の防災教育の推進 ～岡山県における公民館を活用した防災教育の取組～

○木下 史子（神戸大学国際協力研究科）・桜井 愛子（神戸大学国際協力研究科、東北大学災害科学国際研究所）

B-2-3 生活支援コーディネーターによる地域・学校防災の活動支援-岩手県釜石市中妻地区の実践-

○熊谷 誠（山形大学地域教育文化学部）・小原 裕也（釜石市社会福祉協議会）

B-2-4 学校と地域が協働する地域防犯活動の活性化に関する一考

○八木 利津子（桃山学院大学）

セッションC-2「教員研修Ⅱ」（第3会場 理工学部2号館23番講義室）

座長：村山 良之（山形大学・東北大学）

C-2-1 保護者の子育て情報取得方法に関する調査

○舟生 岳夫（セコム株式会社）・森口 優子（コンビウイズ株式会社）・加賀谷 崇文（秋草学園短期大学）・大橋 絵里子（ミサワホーム株式会社）・金子 健司（キッズデザイン協議会）・渡邊 洋己（キッズデザイン協議会）・吉岡 麻衣（キッズデザイン協議会）

C-2-2 降ひょう事例を中心とした近年の突発的な気象災害時における屋外での安全対策

○横山 仁（防災科学技術研究所）・出世 ゆかり（防災科学技術研究所）・下瀬 健一（防災科学技術研究所）

C-2-3 学校の生成 AI 活用場面における教員のリスク認識

○山田 耀（常葉大学教育学部学校教育課程）・酒井 郷平（常葉大学教育学部学校教育課程）

15:20～17:40（メイン会場 理工学部みらいAI0ホール）

シンポジウム①「東日本大震災被災15年を迎える岩手で災害安全を考える」（無料公開）

シンポジスト

藤岡宏章（岩手県田野畑村教育長、東京学芸大学こどもの学び困難支援センター客員教授）

佐藤 健（岩手県陸前高田市立高田小学校長）

吉門直子（高知県土佐市教育研究所長）

森本晋也（岩手県立図書館長、岩手大学地域防災研究センター客員教授）

コーディネーター

麦倉 哲（岩手大学名誉教授）

18:10～20:10 情報交換会（岩手大学生協理工学部食堂）

進行（岩手大学&小田隆史）

第2日目 9月14日(日)

9:45～ 参加受付(理工学部みらい AIO ホール入口付近)

10:00～11:00

一般口演③

セッションA-3「安全管理」(第1会場 理工学部2号館12番講義室)

座長: 佐藤 健(東北大学)

A-3-1 化学物質の自律的管理に関する横浜国立大学の活動事例紹介

○伊藤 正彦(横浜国立大学安全衛生推進機構)・小柴 佑介(横浜国立大学理工学部)・和久井 健司(横浜国立大学理工学部)・高橋 龍太郎(横浜国立大学理工学部)・佐藤 敏之(横浜国立大学理工学部)・森 康之(横浜国立大学理工学部)・片平 剛(横浜国立大学学務・国際戦略部)・中田 文夫(横浜国立大学安全衛生推進機構)

A-3-2 大学実験室における可燃性液体に起因した火災事故の防止に資する安全講習会用教材の開発

○小柴 佑介(横浜国立大学)・伊藤 正彦(横浜国立大学)

A-3-3 総合スポーツクラブにおけるけが・体調不良時の対応フローチャート導入が学生スタッフの安全管理意識に与える影響

○赤尾 百永(岡山大学大学院教育学研究科)・廣瀬 真穂(岡山大学大学院教育学研究科)・津島 愛子(岡山大学学術研究院教育学域)・松枝 睦美(岡山大学学術研究院教育学域)

A-3-4 水平避難支援イメージが避難時間予測及び身体負担予測に及ぼす影響

○末澤 祐暉(就実大学大学院)・森村 和浩(就実大学教育学部)・原 奈津子(就実大学教育学部)・根馬 卓志(就実大学大学院)・飯田 智行(就実大学教育学部)

セッションB-3「大学教育」(第2会場 理工学部2号館22番講義室)

座長: 桜井愛子(神戸大学・東北大学)

B-3-1 大学生の防災学習経験と次世代への知見の継承について

○菊地 洋(岩手大学)・鈴木 久米男(福島学院大学)・麦倉 哲(岩手大学名誉教授)

B-3-2 教職科目「特別活動の指導法」において防災ゲームを用いた教育実践の効果

○藤原 靖浩(関西福祉科学大学)

B-3-3 外国人留学生の防災教育のニーズに関するパイロット調査

○辻本 桜子(大阪教育大学)

B-3-4 災害時を想定した船舶を用いたモデル授業 -M-GTAを用いた分析報告-

○佐々木 克敬(東北工業大学)・山口 尚哉(宮崎大学)・湯地 敏史(宮崎大学)・高橋 洋子(創価大学)

セッションC-3「教員研修Ⅲ」(第3会場 理工学部2号館23番講義室)

座長: 小田隆史(東京大学)

C-3-1 権利としての安全からみた学校経営の意義と課題—東日本大震災(2011年)の校長のリーダーシップ事例を通して—

○太田 泰子(吉備国際大学, 兵庫教育大学大学院教育学研究科)

C-3-2 避難所運営における教員の課題

○中川 優芽(慶應義塾大学 SFC 上席所員)・小林 祐太(富士宮市役所危機管理局)・小池 秀(富士宮市役所危機管理局)

C-3-3 児童生徒在校時の大雨対応に関する教員研修プログラム開発:2024年酒田の大雨事例を用いて

○村山 良之(東北大学(特任))・桜井 愛子(神戸大学・東北大学)・佐藤 健(東北大学)・熊谷 誠(山形大学)・北浦 早苗・小田 隆史(東京大学)

C-3-4 特別支援学校における避難訓練の改善に関する研究—肢体不自由校における取組を中心に—

○齋藤 朝子(埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校)

11:10~12:10

一般口演④

セッションA-4「安全教育Ⅱ」(第1会場 理工学部2号館12番講義室)

座長:井口成明(桐蔭横浜大学)

A-4-1 周辺視野制限が運動パフォーマンスの予測に及ぼす影響 ~小学校体育授業における事故回避のための基礎的研究~

○飯田 智行(就実大学)・末澤 祐暉(就実大学大学院)・根馬 卓志(就実大学大学院)

A-4-2 小学校体育授業における事故分析に基づく事故防止普及啓発ツールの開発

○山崎 雅史(園田学園大学)

A-4-3 保健教育を通じた自己指導能力の育成とレジリエンスへの効果

○矢田 有紀子(高松市立下笠居中学校)

A-4-4 REDsに関する知識・経験に着目した養護教諭と大学生の実態調査

○津島 愛子(岡山大学学術研究院教育学域)・樋口 千草(岡山大学学術研究院教育研究マネジメント領域)・榎本 翔太(岡山大学学術研究院共通教育・グローバル領域)・鈴木 久雄(岡山大学学術研究院共通教育・グローバル領域)・樋口 洋介(岡山医療センター)・三橋 利晴(岡山大学学術研究院医療開発領域)・岩崎 良章(岡山大学学術研究院教育研究マネジメント領域)・平田 仁胤(岡山大学学術研究院教育学域)

セッションB-4「防災教育Ⅱ」(第2会場 理工学部2号館22番講義室)

座長:藤岡達也(滋賀大学名誉教授)

B-4-1 カーボンニュートラルと防災を題材とする家庭科授業実践と課題

○末川 和代(福井大学教育学部)

B-4-2 「継承」という概念を基盤とした安全科授業の実践

○池住 祐亮(大阪教育大学附属池田小学校)

B-4-3 ぼうさい甲子園への挑戦 今っ子防災隊まちづくりプロジェクト ～災害に強く誰にでも住みよいまちへ～

○小淵 昂希（上尾市立今泉小学校）

B-4-4 小学校理科における地震、土石流の連動した複合災害の取扱いについて

○川真田 早苗（北陸学院大学）・藤岡 達也（滋賀大学）

セッションC-4「災害伝承」（第3会場 理工学部2号館23番講義室）

座長：熊谷誠（山形大学）

C-4-1 児童・生徒の災害伝承意向の高さと教育実践の課題

—A 県学校安全アンケートと関係者インタビューから

○麦倉 哲（岩手大学名誉教授）・菊地 洋（岩手大学）・森本 晋也（岩手県立図書館）

C-4-2 児童生徒・教職員の防災意識の現状と課題～「いわての復興教育」に関するアンケート結果から～

○森本 晋也（岩手県立図書館／岩手大学地域防災研究センター）・麦倉 哲（岩手大学名誉教授）・菊地 洋（岩手大学）

C-4-3 若年被災者の声を活用した震災の伝承に関する一考察

○齋藤 由美子（仙台市立榴岡小学校）

12:10～13:00 昼食・休憩

13:00～14:00（メイン会場 理工学部みらいA10ホール）

総会・表彰式

14:10～15:50（メイン会場 理工学部みらいA10ホール）

シンポジウム②「学校安全学シンポジウム2025—学校事故調査と安全教育の橋渡し—」（無料公開）

シンポジスト

桐淵 博（元さいたま市教育委員会教育長、日本AED財団理事）

桐田寿子（NPO法人つなぐいのちの輪バイタルネットジャパン さいたまPUSH顧問）

田原克志（一般社団法人 日本医療安全調査機構 専務理事）

コーディネーター

本山敬祐（岩手大学教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター准教授）

15:50～16:00（メイン会場 理工学部みらいA10ホール）

閉会行事

閉会挨拶 麦倉 哲（岩手大学名誉教授）

なお、会員控室を用意しました（理工学部2号館13番講義室）、休息・懇談や昼食時にご活用ください。部屋には茶菓が置いてあり、また貴重品以外の荷物置き場としても利用できます（管理責任は各自で）。